

英語 (English)

発信型英語 (Communicative English)

(工(電c)2年))

ギュンター ディルク・非常勤講師

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『発信型英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『英語 (2)』)

【授業の目的】 英語のコミュニケーション能力を高める。

【授業の概要】 ペア練習と(グループ)プレゼンテーションを通じて基本的な文法を復習し、日常生活会話能力を高める。

【キーワード】 現代英語, コミュニケーション, 外国文化

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 英語で話しをしたり英語を聞くことに対する抵抗感を無くす。
2. 英語を使う自信を高める。

【授業の計画】

1. オリエンテーション
2. "Getting To Know You"
3. 単語ミニテスト "Giving Advice 1"
4. 単語ミニテスト "Giving Advice 2"
5. 単語ミニテスト "Planning An Event 1"
6. 単語ミニテスト "Planning An Event 2"
7. 単語ミニテスト "Meeting A Star"
8. 中間テスト
9. "Just Talk 1"
10. "Just Talk 2"
11. 単語ミニテスト "Describing Situations 1"
12. 単語ミニテスト "Describing Situations 2"
13. 単語ミニテスト "Dialogue"
14. 単語ミニテスト "歌の聞き取り"
15. 期末テスト
16. 総括授業 ※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

【教科書】 [教科書]

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 (ア) 単語ミニテスト, (イ) 中間テスト, (ウ) 期末テスト, (エ) 授業への積極的な参加, (オ) 英語での 5 分程度のプレゼンテーション, (カ) 出席。単位取得のためには(ア)~(カ)の全ての分野で最低 60 点を取る必要があります。 (ア~カ)の中で 60 点より少ない点数があった場合には不合格です。

【再試験の有無】 無

【受講へのメッセージ】 英語は"ただの勉強しなければならない事"ではなく、言葉通り「世界への扉」です。授業によく参加して、遠慮せずに身に付けた英語を使ったら、その扉を開けることができます。教室でお会いするのを楽しみにしています。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220908>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ ギュンター .

English

Communicative English

(工(電c)2年))

Dierk Günther · PART-TIME LECTURER

2 units 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『発信型英語』) (平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

Target) 英語のコミュニケーション能力を高める。

Outline) ペア練習と(グループ)プレゼンテーションを通じて基本的な文法を復習し、日常生活会話能力を高める。

Keyword) *present-day English, communication, foreign culture*

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 英語で話しをしたり英語を聞くことに対する抵抗感を無くす。
2. 英語を使う自信を高める。

Schedule)

1. オリエンテーション
2. "Getting To Know You"
3. 単語ミニテスト "Giving Advice 1"
4. 単語ミニテスト "Giving Advice 2"
5. 単語ミニテスト "Planning An Event 1"
6. 単語ミニテスト "Planning An Event 2"
7. 単語ミニテスト "Meeting A Star"
8. 中間テスト
9. "Just Talk 1"
10. "Just Talk 2"
11. 単語ミニテスト "Describing Situations 1"
12. 単語ミニテスト "Describing Situations 2"
13. 単語ミニテスト "Dialogue"
14. 単語ミニテスト "歌の聞き取り"
15. 期末テスト
16. 総括授業 ※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

Textbook) [教科書]

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) (ア) 単語ミニテスト, (イ) 中間テスト, (ウ) 期末テスト, (エ) 授業への積極的な参加, (オ) 英語での 5 分程度のプレゼンテーション, (カ) 出席。単位取得のためには(ア)~(カ)の全ての分野で最低 60 点を取る必要があります。(ア~カ)の中で 60 点より少ない点数があった場合には不合格です。

Re-evaluation) 無

Message) 英語は"ただの勉強しなければならない事"ではなく、言葉通り「世界への扉」です。授業によく参加して、遠慮せずに身に付けた英語を使ったら、その扉を開けることができます。教室でお会いするのを楽しみにしています。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220908>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Günther .